

安全データシート

整理番号 TNI 00486

作成日 2005/12/1

最終更新日 2015/1/1



1. 化学物質及び会社情報

会 社 : 大陽日酸株式会社
 住 所 : 〒142-8558 東京都品川区小山 1-3-26 東洋 Bldg.
 担当部門 : SI 事業部 担 当 者 : 平 博 司
 電話番号 : 03-5788-8695 FAX 番号 : 03-5788-8710
 緊急連絡先 : SI 事業部（電話番号 03-5788-8550）
 メールアドレス : Isotope.TNS@tn-sanso.co.jp
 ホームページアドレス : <http://stableisotope.tn-sanso.co.jp>

化学物質	2-アミノエタノール
------	------------

製品名	エタノール-2- ¹³ C アミン、エタノール- ¹³ C ₂ アミン エタノール-1,1,2,2-d ₄ アミン、エタノールアミン- ¹⁵ N
-----	--

＊ 安定同位元素で標識された化合物は、標識核種及び位置により製品名称が異なりますが、安全性データは非標識化合物と同一とみなします。従って、特に指定しない限り本シートに記載されているデータは、非標識化合物のデータを採用しています。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分 4
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない

健康に対する有害性：	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
	急性毒性（経口）	区分 5
	急性毒性（経皮）	区分 3
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類対象外（粉じん）
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない（ミスト）
	皮膚腐食性・刺激性	区分 1A
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
	呼吸器感作性	区分 1
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
環境に対する有害性：	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 1（神経系、肝臓）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1（神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	区分 2
	水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 可燃性液体
飲み込むと有害のおそれ（経口）
皮膚に接触すると有毒（経皮）
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
神経系、肝臓の障害
長期又は反復ばく露による神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、
呼吸器の障害
水生生物に毒性

注意書き： **【安全対策】**

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
炎及び高温のものから遠ざけること。
換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。

呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚刺激又は発疹がおきた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

単一製品/混合物の区分・・・	単一の化合物
化学名	2-アミノエタノール
別名	エタノールアミン、モノエタノールアミン、 2-ヒドロキシエチルアミン
含有量	99.0%以上
化学式又は構造式	$\text{N}_2\text{NCH}_2\text{CH}_2\text{OH}$
官報公示整理番号	化審法：(2)－301
CAS番号	141－43－5
国連分類番号	8（腐蝕性物質 PG 3）
国連番号	2491

4. 応急措置

目に入った場合	直ちに多量の水で15分以上洗い流し、ほう酸水で洗い、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。付着部又は接触部を石けん水で洗浄し、多量の水で十分に洗い流す。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、2%重曹水でうがいさせ、安静保温に努め、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄し、多量の水を飲ませて薄める。直ちに医師の手当を受ける。胃等の粘膜が侵されているので、無理に吐かせてはいけない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 …………… 粉末、泡（アルコール泡）、二酸化炭素、水（噴霧）
- 消火方法 …………… 火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。又、延焼の恐れがないように水スプレーで周辺のタンク、建物を冷却する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。消火作業の際には必ず保護具を着用し、作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

- …………… 火気厳禁とし、通気換気をよくし、ウエス、雑巾、土砂等に吸着させて空容器に回収し、その後多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い …………… 火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、酸、酸化剤との接触を避ける。吸い込む、又は眼、皮膚及び衣類に触れる等がないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業をする。容器を密封、又は局所排気装置を設置する。容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
- 保管 …………… 容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し密閉して、空気との接触を避ける。その他、毒物及び劇物取締法、消防法などの法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

- 許容濃度 …………… 日本産業衛生学会勧告値：3 p p m （7. 5 m g / m³）
ACGIH (TLV)：TWA 3 p p m STEL 6 p p m
OSHA (PEL)：a i r TWA 3 p p m
- 保護具 …………… 保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、保護衣、有機ガス用防毒マスク
- 設備対策 …………… 屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化、又は局所排気装置の設置を行う。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

9. 物理及び化学的性質

- 外観等 …………… 無色の液体、アンモニア臭。

沸点	171℃
融点	10℃
比重	1.017（20／4℃）
溶解度	水、アルコール、アセトンに易溶。
蒸気圧	64Pa（20℃）
蒸気密度	2.1（空気=1）
引火点	97℃（クリーブランド開放式）
発火点	410℃
爆発限界	下限：5.5 vol% 上限：17 vol%（空气中）

10. 安定性及び反応性

.....	吸湿性があり、強塩基性である。CO ₂ 、SO ₂ 等酸性ガスを吸収する。
-------	---

11. 有害性情報

急性毒性	腹腔 ラット	LD50：67mg/kg
	経口 モルモット	LD50：620mg/kg
	経口 マウス	LD50：700ppm/kg
	皮膚 ウサギ	LD50：1000ppm/kg
刺激性	皮膚刺激 ウサギ	505mg 解放系 中程度
	皮膚刺激 ウサギ	763μg 重度
がん原性	OSHA、NTP、IARCにがん原性の記載無し。	
慢性毒性	中枢神経系、消化管、肝臓、腎臓に影響が出る恐れがある。新生児に発育遅延を起こすことがある。	

12. 環境影響情報

分解性	生分解性の良好な物質。
蓄積性	データなし。
魚毒性	データなし。
その他	log Pow（オクタノール／水分配係数）：-1.31

13. 廃棄上の注意

.....	燃焼法を使用する。可燃性溶剤と共に、焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。少量の場合はおがくず、ウエス等に吸収させて解放系で焼却する。もしくは活性汚泥法を使用する。
-------	---

14. 輸送上の注意

..... 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。その他、消防法などの法令に定めるところに従う。

15. 適用法令

P R T R 法	第 1 種指定化学物質
労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物
毒物及び劇物取締法	劇物
消防法	第 4 類引火性液体、第三石油類水溶性液体
大気汚染防止法	揮発性有機化合物 法第 2 条第 4 項 有害大気汚染物質
海洋汚染防止法	有害液体物質（D 類物質）
バーゼル法	廃棄物の有害成分・法第 2 条第 1 項第 1 号イに規定するもの
航空法	施行規則第 1 9 4 条危険物告示別表第 1 腐食性物質
船舶安全法	危規則第 2、3 条危険物告示別表第 1 腐食性物質
道路法	車両の通行の制限
外為法	輸出貿易管理令別表第二 輸入貿易管理令第 4 条第 1 項第 2 号

16. その他の情報

【参考文献】

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH(1985 - 86)

国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 化学工業日報社(1992)

化審法の既存化学物質安全性点検データ集 (財)化学品検査協会編(1992)

産業中毒便覧 後藤稠 他編 医歯薬出版(株)(1977)

化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース

GHS 仕様モデル SDS 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター

* この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。また、含有量、物理及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の実施を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して下さい。